

ソフトウェア開発プロセス特論 2

(Software Development Processes 2)

種別・単位：講義・2単位（集中講義）

開 講 期：前期

担 当 者：中村仁之輔，PMP（システム情報科学専攻）

新宮 米三，PMP（PMI東京支部）

北 寿朗（PMI東京支部）

拜原 正人（PMI東京支部）

主題と目標

ITソフトウェアの開発に関し、①ITソフトウェア開発の特徴、②システム・ライフサイクルの特徴、③各フェーズにおけるプロジェクトマネジメントの知識、ツール、手法等を講義、演習を通じて学ぶとともに、実プロジェクト例に基づく、プロジェクトマネジメント実行上の課題解決方法を演習を通じて学ぶ。また、実プロジェクト経験に基づく、プロジェクトマネジメントのあり方を学ぶ。これらを通じて、実ITソフトウェア開発プロジェクトにおけるプロジェクトマネジメントの実際を習得する。

授業計画（項目、授業実施回数、内容）

項 目	回	内 容 説 明
ITソフトウェア開発とは	2	ITソフトウェア開発の特徴、システム・ライフサイクルの特徴、プロジェクトのフェーズとプロセス等
ソフトウェア開発の知識エリア（1）	4	ITソフトウェア開発における、①統合マネジメント、②スコープ・マネジメント、③タイム・マネジメント、④コスト・マネジメント、⑤品質マネジメントの知識、ツール、手法等の講義及び演習
ソフトウェア開発の知識エリア（2）	3	ITソフトウェア開発における、⑥人的資源マネジメント、⑦コミュニケーション・マネジメント、⑧リスク・マネジメント、⑨調達マネジメントの知識、ツール、手法等の講義及び演習
実プロジェクト紹介及び演習	4	電子政府システムを例に、実プロジェクトの紹介及び実プロジェクト運営上の課題解決演習
プロジェクトマネジメントのあり方	2	実プロジェクト経験豊かな講師による、具体例を交えた、ITソフトウェア開発におけるプロジェクトマネジメントのあり方

評価・教材・受講条件等

《評価》 出席状況、課題に対するレポート、プレゼンテーションにより総合的に評価する。

《教材》 講義用教材：講義用資料を配布するとともに適宜参考書を示す。

補足教材：プロジェクトマネジメント知識体系ガイド(PMBOK)第3版

《受講条件等》 プロジェクトマネジメント特論を履修していること。また、プロジェクト計画特論1、2、プロジェクト運営特論、ソフトウェア開発プロセス特論1は履修していることが望ましい。